

## 平成 18 年度第 2 回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成 18 年 7 月 4 日（火曜日）午後 1 時 35 分～午後 4 時 55 分

場 所 酒田市八幡中央公民館大ホール

出席者（13 人）

1 号委員 安藤浩夫 佐藤ひとみ 遠田清之 小野明美 加藤智子

2 号委員 大瀧雅士 村上三喜郎 荒生豊 佐藤貞夫 後藤純子 高橋知美

3 号委員 後藤泉 池田善幸 田村和徳

八幡総合支所 支所長 三柏憲生、地域振興課長 池田保、地域振興課主査 佐藤弥、主任 御  
船正周、主事 後藤和紀

欠席委員（2 人） 堀茂雄、池田善幸

傍聴者 男性 1 人

議事日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協 議

地域内振興に関する課題について

ア 文化施設の整備について

イ 学童保育について

地域コミュニティづくりについて

・ 現状～方策～姿（年次目標の作成）

その他の地域課題について

5 閉 会

## 1 開会

事務局 ただ今から第2回の地域協議会を始めさせていただきます。会長からご挨拶をいただきます。

## 2 会長あいさつ……後藤純子議長

## 3 会議録署名委員の指名

議長 会議録署名委員ですが、名簿5番委員の堀茂雄委員の順番ですが欠席のため、6番委員加藤智子委員を指名します。

## 4 協議

議長 次に、協議に入ります。本日は3時半までの予定ですが、協議の1番については午後3時15分までに。地域コミュニティづくりについては午後3時45分ころまでとしたいと思います。それでは、協議、地域内振興に関する課題のうち、「文化施設の整備について」、事務局より説明をいただきます。

### 4 - - ア 地域内振興に関する課題について「文化施設の整備について」

事務局 それでは中央公民館の整備経過について説明します。

【説明要旨】新しい中央公民館の整備の検討、答申では60億円に上る施設整備でしたが、それは難しい。そうこうしているうち建築基準法の改正により耐震診断が必要。補強工事をして内部の設備の老朽化は変わらないことから、新たな施設整備ということで、町の過疎計画と新市の建設計画策定時に中央公民館整備を18年度設計、19、20年度整備、事業費6億4千万円で載せています。合併となり、18年度予算編成時に、18年度に設計費を予算要求し、復活要求までしましたが、後年度送りとされました。先日の観音寺地区の地域づくり懇談会では、席上、市長の最後の言葉として、「建設計画に載っているものは整備する考えである」とありました。一條地区の地域づくり懇談会では「中央公民館を壊すのはもったいない」との発言もありました。中央公民館を整備することを前提として、本日委員の皆さんから考えていただきたいことは、合併した現在、中央公民館としての必要性について、また求められる機能はどんなものがあるか、利用度を高めるためにはどのような方策があるかについて、ご協議いただきたいと思います。

議長 予算要求する上で更にアピールするために、委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。最初に必要性について話し合っていきたいと思いますが、どなたか。

(場内声なし)

事務局 現在の施設は、防音上の問題、ロビー機能の狭さ、配管の老朽化など問題があって、建替えが望ましいとの結論から、当初予算に計上した補強工事設計費を補正で減額した経過がある。中央公民館の必要性は文化施設の拠点ということで地域住民誰もが認めるところであり論議の余地はないと思っている。そこで、今現在、合併した上で、どれだけの機能が必要なかを考えていただきたいと思う。

委員 八幡の人たちは、遊佐町や平田の図書館を利用しているようなので、図書館的機能

は必要。また、あったらいいなと思う機能として、大人も子どもも集える、住民ふれいのコーナーがあります。

委員 答えづらい意見になる。というのは、八幡全体としての中央公民館を考えると、私自身ほとんど利用していない。子どもたちが行くにしても、文化祭とかお祭りがあったときぐらい。しかし、全体を考えると、公民館はみんなで集まって何かを行うとなると、絶対必要な施設である。しかし、どんな機能が必要なのかをこれまでまともに取り組んで考えた人がいるのか疑問である。もっと枠を広げて、日向や大沢も含めて、文化的に活用できれば、利用者も増えるし利用度も高まると思う。八幡地域に暮らす我々が、酒田市内の施設に行き集まるということは考えられない。

議長 全体としては必要な施設だけれども、それを利用する頻度を高めるためにどうしたらよいか。施設利用状況をみると、一般の人の利用が増えているようですが。

委員 前から図書施設がほしいと言っていた。ここから高校生がバスに乗っていきますよね。高校生の居場所としてフリースペースの場所がほしい。隣に図書室があり、自由に入出入りできる場所があれば、小さい子どもを持つ親も来るだろう。欲を言えば、ロッカーがあってグループのコーヒーなどを置いて置ける設備がほしい。

議長 交流のスペースですね。

委員 第一に欲しいのは図書館。図書館がなければその地域の知的レベルが疑われる。パソコンだと情報がたくさんありすぎて、本を読む習慣が必要。合併になったので、中央公民館でも市立図書館とリンクすれば本を借りられるが、貸し出し方法が統一されればなおいいのでは。喫茶する場がこの辺りにないので、自由に集えるお話しする場がほしい。団体の備品を置いて置けるような場所も必要ではないか。

委員 私はあまり本を読まないが、調べ物をしようにも、以前あった辞書、図鑑類がまったくなくなった。個人で買えない本を充実してほしい。町民の大要望だった図書館が建たない、図書室の本も少なくなり、悲しんでいる声は多いと聞く。施設の利用、規模、如何に安く上げるかは、行政で考えてほしい。中央公民館的な施設は必ず必要なわけです。

委員 現在の中央公民館は青年団時代使わせていただいた思い出ある施設である。合併により、八幡町の中心としての公民館の機能はなくなったのかなとも考える。これからは各公民館の活動は、直接酒田中央公民館の受け持ちになると思われますし、人口も減ってきているので、観音寺地区のコミュニティセンターみたいなものになっていくのかなと思っている。しかし、観音寺は八幡地区の中心な訳ですから、防災機能も備えた公民館が必要と考える。また、利用時間を長くしてほしい。

委員 合併なったからといって、文化センターや図書館があればいいというものではない。中央公民館は必要。フリーに入出入りできるスペースがあれば利用頻度は高くなる。図書館については、中学三年生、夏、部活が終わってから図書館で勉強している。防音について配慮した施設にしてほしい。そうなれば勉強できる環境になり、利用も増えると思う。

事務局 ステージのあるホール、広い施設は作ったが、発表する、話を聞く機会がないというのでは面白くない。希望ホールまで行くにはなかなか大変である。観音寺のこの場で講演会、シンポジウム、芸能などを聞く企画が大切になる。行政区域が広がったため様々の

文化芸術が増えた。器が大きくなったためにいろんなチャンネルを利用して呼べるようになってきた。図書を巡回して貸し出すのと同じように、そういったホールの利用の仕方も非常に大事なことだと思う。

議長 八幡で催し物をしていると、酒田から来る人が増えてきていると聞きます。こちらからも、松山で講演会があるというので行った。外から人が来ていただけるようなコンサートや何かを企画できれば交流が増えるのではと思ますが。

事務局 1市3町で、平成17年度の観光客入れ込み数は315万人。酒田が234万人、八幡が60万人。八幡の数の5倍に増えた観光客を活用していきたいとあった。これと同じように、八幡の会場に来てもらう、あるいは発表してもらうことが必要なのではないか。どうしたら来てもらえるか、発想を変えていかないと。

議長 私たちが酒田に行くだけでなく、酒田から人が来てもらえるようにということですね。

委員 八幡の文化の中核をなす中央公民館の役割は図り知れないものであったし、これからも期待される。八幡の図書室を整備する場合でも文化センターの図書館のような機能ができるものを希望したい。大ホールは多目的に活用できる今の形でよいと思っている。希望ホールの催し物に参加することで足りる。八幡の人口を考えるとそれほど大きなものは必要ない。これからの八幡コミュニティを考えると、中央公民館はいろんな分野の文化の拠点施設であるので、それにふさわしい施設がどうあればいいかについては、地域の人が知恵を出し合って、地域の人々の希望を取り入れたものとして考えてみたい。

委員 私は、週2回団体の一員として利用している。地域からも参加して、交流の場として、地域を越えた利用をしている。中央公民館は補強工事しなければならないとあった。公共施設でもあり、安全性の点からも新しいものにしたらいい。図書館は別棟として建てるのもよいのでは。

委員 皆さんの話を聞いていると、まだ1市3町の気配がうかがわれるような気がしてならない。新酒田市として施設建設を考えるべきである。無駄なものは作らない。あるものは補修などして使っていく。また、施設整備は地域の特性を活かしていくことを基本にしたい。それには酒田市が主導して地域の特徴あるものにしてもらいたい。学校が統合されれば、空いた学校はどう利用していくのか。役場の空きスペースの利用はどうか。酒田市は一つだという考え方で施設整備を検討すべきだ。特色ある施設整備をすることで、八幡だけでなく、平田、松山、酒田からも使えるような施設ができる。

議長 八幡の特徴を活かしたのですね。希望ホールの利用をみると有名な人を呼んでいるが、地域に根ざした、地域の人を活かしたものをを行うのも一つの方法でしょう。

委員 耐震工事をすると使えるのだとすれば、新しい施設建設は無駄なような気がする。また、さっきから聞いていると、図書館に図書が欲しいのではない。フリーに集えるスペースとしての図書館がほしい。しかし、その場所に図書も充実させて欲しいのが大きいのでは。

委員 私、図書館を利用しているほうだと思いますが、酒田の図書館に行くと、静かに本を読んでいる人がいっぱいいますよ。これから高齢化していくのに、酒田までいくのはど

うも。図書館があれば集まりますよね。

委員 図書館の機能は専門的な資料をそろえて勉強するだけのものでなくて、子どもだけで留守番している家庭への対策にもなるし、子どもたちに活字にふれる場を提供する意味でも必要だと思う。本を手にして読む機会をなくすると、八幡から文化が消えてしまうのでは。

委員 平田タウンセンター、松嶺公民館の図書を見させていただいた。感じたこととして、合併前と絶対同じでないことを認識しなければならない。やっぱり不公平はある。平田に立派なタウンセンター図書室は作ったが、蔵書の数では酒田にかなわない。八幡に酒田の中央図書館と同じものを求めるのは不可能である。インターネットで貸し出し依頼のあったものは、専門職員が配達して貸し出しをするそうだが、(支所地域の施設で)本格的な図書館機能を目指すと言っているができないと思う。施設はみんなに平等であればいいが、現実としてできない。高齢社会を迎えるにあたり、施策のどこにウエイトを置くかということ、やはり次の世代を考えなくてはならない。防音機能のある学習施設とかみんなで見られる施設とか、包括していかないと、いつになっても希望ばかりで終わってしまう。

#### 4 - - イ 地域内進行に関する課題について「学童保育について」

議長 それでは時間も過ぎましたので、次の議題、学童保育について、資料の説明を事務局からお願いします。

事務局 【説明概要】資料は酒田市ホームページからの資料で 12 の学童保育所があります。20 人から 35 人が基本的に保育の適正規模となっているようです。17 年度の各学童保育所の運営状況はこのようになっており、多いところで 93 人がおり、旧 3 町では平田にみすみっ子クラブがあり、15 人と小規模の運営をしています。また、預かる職員は 2 人から 3 人、平田は有償ボランティア 2 人で見えています。資格として、教諭、保育士を持っている人が多いようです。

では、18 年 5 月調で、八幡にどれだけ放課後に家族等のいない児童がいるのかということ、一條小で 12 人、八幡小 11 人、大沢小 7 人、日向小 3 人、計 33 人となっています。そのうち低学年は計 11 人です。八幡小あるいは観音寺に学童保育所を 1 か所建てるとすると、基本利用料月額 7,600 円から 10,000 円払っても預ける人がどれだけいるかが課題となります。また、9 人以下では補助対象とならないわけで、どうしたらよいかということ、この間の地域づくり懇談会で市長が、「補助対象にならなくても、少人数でも預けられる仕組みを検討すべきでないか」という趣旨のことを話しました。しかし、人の子どもを預かるのに、安全面を解決しなければならないと思います。

議長 経過を説明いただきました。全国的にも学童保育の要請、需要が高まっているようですが、八幡地区でどれくらいの声があるのか、需要があるのかお聞きしたいのですが。

委員 大沢公民館に P T A 会長から、「児童を預かってもらえないか」と来たが、断ったことがある。学校で聞いたことだが、児童たちを 2 人の母親が交代で見ている。そういうことを考えると大沢にもあれば安心なのかなと思う。酒田市内では学校の脇に学童保育所があり、安心して預けられる。大沢小学校は統合になったら八幡小学校になるのだから、

移動のない八幡小学校の近くに作って欲しい。

委員 一条では核家族が増え、入学前の学校説明会では学童保育の要望が出るようだ。一条公民館にも子どもが来ているが、家庭の責任で家に帰ってからきてもいいですよとしている。学校が早く終わる低学年の子が集まってくることから、学童保育が必要なのは低学年だと思います。学校の近くにあればいいのですが、八幡に一か所とすると、家に一度帰り、またバスに乗って学童保育所に行くという訳にはならないと思うが、学校にバスが迎えにくるのなら通える。一条地区に一か所としたらどれだけ需要があるのかも思いますし、利用料も家庭ではかなりの負担になると思うので費用を払っても必要な人がどれほどいるのだろうか。学校の中で5時まで過ごしていいよというのなら良いのでしょうか。

委員 毎日の学童保育を望んでいる人もいるでしょうが、隔週土曜日だったり、夏休みのずれで親が休みを取れなかった場合など、臨時の需要はかなりあると思う。振り替え休日の保育が困ったというお母さんの声は聞く。

委員 保育園で小学校の子どもを預かっているのでは。

事務局 平成12年度から「保育所における小学校低学年児童放課後受入事業」として八幡保育園と市条保育園で実施している。これまでは4月、5月は来るが段々来なる傾向があった。今年は、八幡小学校の1年生2人が7月になっても来ている。保育時間は午後3時から6時まで。1日300円を徴収。

委員 学童保育より、升田児童館のスタイルがよかったです。責任を持って保育する職員体制を考えねばならない。簡単に公民館で預かることにはならない。学童保育と児童館の関係はどうなっているのか。

委員 川崎の孫のところでは、ボランティアが学校に集まって、お菓子代は払うが、保育料はただ。カードにハンコをもらい、今日お願いしますというだけで預けられる。大阪・池田小学校の事件があったが、学校をガードするのか、逆にいるんな出入りする大人が増えれば、かえって不審者が入りにくい。そういう新しい形がでてきている。7600円ほどの保育料を払って預ける人がいるのでしょうか。もし、委員の皆さん父兄でしたら、預けるのでしょうか。子どもを見られないので公文(くもん)にやる人もいると聞くが。

委員 保育園には延長保育があるが、小学校では昼過ぎの下校時間になると帰ってくる。母親がパートに就いたり、仕事をやめたりした人もいる。そういう人たちにとっては必要なもの。一旦いい職に就いたら簡単に辞められない。そういった人たちのことを考えたら、学童保育は少人数であっても必要なものだ。

委員 都会の話は理想的なことだと思います。都会では収入の多い家庭のお母さんたちが結構家にいる。教育に熱心な人たちがいるからボランティアもやれる。この辺では共稼ぎで、祖父母がいなくなると、一年生、低学年の子の保育は、子どもが地域に少なくなると心配だという感じはする。鶴岡の学童保育の施設の人に聞いたことだが、子どもが100人もいるところがあって、子どもが座って勉強できるスペースがないなど大変だそう。都会と違い、ボランティアでこの地域もやれるかということ、なかなか困難では。

議長 見ていただく人の資格とかはあるのでしょうか。

事務局 酒田市児童課の資料をみると、児童厚生員、保育士、学校教諭などの資格を持ち、

20代、40代とさまざまである。ボランティアでやってところの人は無資格のようだ。男性はいない。

委員 テレビで見たのだが、世田谷区の小学校では学童保育とは違う形で、家に親がいる子どもたちも自由に来て遊んでいる。だれが保育しているのかというと、一仕事終わった人たちが、男も女もやっている。それを生きがいでやっているからという人が多かった。昔の遊びを教えているということもあり、この地域でも適していると思った。学校でできるというのであれば、活性化すると思うし、この形はいいのではないかと思う。

委員 学童保育所の整備が今年の市の重要事業に上がっていたように思うが、内容はなにか。皆さんが言うのは、学校の近くに施設を置いてもらいたい。できれば資格のある人を配置できればいいが、できなければ地域のボランティアが学校に来て保育を行うということは可能か。保険、管理費などいろんな障害はあるが、地域協議会として提案して行った場合、市としてどのような対応をするのか。

事務局 宮野浦学区学童保育所整備として約4800万円計上している。学童保育所の運営は継続しているので、特に増額されるものでもない。地域や保護者から学童保育所の開設の要望があれば、継続的に保育が必要な人数が10人以上見込めるのなら、すぐにできるわけではないが、開設は可能。施設はどこで、誰が保育するのかなど条件を整える必要がある。

委員 多くの人は学童保育を必要としているのだと思う、しかし、私は、こういった施設については反対。ストーブは熱く危険だから柵を作り、子どもは自動的に危険から外される。私は子育ての基本としてそういうことはしてこない。熱さを分からせることで危険を教える。親の勝手に子を産んで、育てられないから施設を作ってくれ。利便性だけで施設を作る。本当にそれでいいのか。保護することが悪いことではないが、本当にそれがいいことなのか。親の便利さを追っているだけで、危険を教えずして子どもを守っているのかといたい。

事務局 学童保育所が学校の敷地の中にあればベスト。敷地になくとも、近くにあればさほど危険を感じないで通える。2、3キロも歩くというのはだめなので、幸いスクールバスがあるのでそれで通うことができよう。30人以上の放課後児童がいる。その人たちが、本当に学童保育が必要だとすれば、要望していくことが大切ではないか。

### 3 - 地域コミュニティづくりについて

議長 地域コミュニティづくりについて、事務局の説明をお願いします。

事務局 【説明概要】本日のお渡しした資料は、17年度の松山地域協議会で提出した資料です。まず、市長がコミュニティ振興会をつくっていただきたいと地域づくり懇談会でたびたび言っております。コミュニティ振興会の形成については、新市の建設計画にもありますし、17年12月の初議会でも重点的に取り組む事業に上げられています。資料は、酒田市が公民館と地域コミュニティ活動のあり方を今後どのように行うかを答申したものです。この中で、「公民館との併設から、コミュニティセンター単独施設として整備することが望ましい。」また、付記に「コミュニティ活動については、少子・高齢化社会への対応、防災対策、環境問題、交通安全や防犯、衛生等の取組みなど活動範囲が拡大しており、自

治会との連携を強めるためにも、新しいまちづくりの視点から、主管課は市長部局への移管が望ましい。」とあります。公民館地区のコミュニティ振興会組織、事業費の例として北平田地区を出しました。予算額、組織団体、事業を見ていただきたい。八幡の地域にあったコミュニティ振興会の姿を探していただきたい。

議長 時間も大部超過していますので、委員からは少し意見をいただいて終わりにします。

委員 松山の組織図を雛形として作ってみたらよい。不都合があったら直せばよい。それが手っ取り早い。

委員 コミュニティ振興会のイメージが湧かない。

委員 コミュニティの活動と公民館活動とは、似ているようで違うのではないか。

委員 昨年の公民館大会での講師が、「コミュニティ活動と公民館は違うよ。山形県ではコミュニティセンター化が進んでいるが間違っている」と言われたことが頭にある。コミュニティ化すべきでないというのが講演の内容だった。「公民館は生涯学習施設であって、一緒にはできない。庄内ではコミュニティセンター化が進んでいるが、内容としてはいい方向じゃない」という話だった。

委員 教育委員会から市長部局に移ると、いいことでもあるのか。

事務局 特にいいことはない。公民館は教育委員会部局。自治会関係全般の仕事になるので、市長部局が担当になるということである。

委員 マイナスの要因が感じられる。自主的活動を強制されて、予算的措置が弱くなっていくのでは。今の八幡の公民館活動が弱くなっていく感じがする。

事務局 勘違いされたら困るのが、コミュニティ振興会ができると公民館活動がなくなるわけではない。拠点となるのは公民館という建物になろう。コミュニティ振興会で公民館と同じような事業をする必要があるとすれば、一体となっていく。酒田市公民館地区の公民館は市職員が主事しているが、行政改革で引き上げることになろう。八幡の場合は民間に委託しているので、このことに関しては解決している。

(無言続く)

事務局 時間も1時間以上延長しているので、今日は酒田市の現状を理解していただければ良いと思います。そこで今後の会議を進めるために公民館地区のコミュニティ振興会がどんな活動をしているのかを勉強しに行きたい。委員の方が直接コミュニティ振興会について内容を深めたいとすれば、協議会に来ていただくことも考える。お呼びする振興会についてはまちづくり推進課の意見を参考にして決めたい。

委員 松山のこの組織図には八幡にないものもある。3支所あるが、独自の活動をやっていいのか。補助金は事業の多寡に応じて変わってくるということで理解してよいか。

事務局 地域が持つ組織はそれぞれ違うので違っていい。市の補助金は行った事業に応じて算定されるので、事業をたくさんすればそれだけ補助される。

委員 八幡の地区では、4公民館の体制はそのままにして、新しくコミュニティ振興会を組織して協調しながら活動していくことでいいのか。

事務局 そのコミュニティ振興会の考え方にもよるが、公民館と協調しないでやると、仕事が進まないと思う。同じような事業を二つもやれない。スポーツ教室をやるとする場



合、子供会でも参加協力すると行ったように行うのでないか。

委員 新たにコミュニティ振興会を立ち上げたことにより、公民館がだんだん弱小化していく心配はないか。公民館の人的、予算的措置はそのままなのか。コミュニティ振興会に反対なのではない。公民館が縮小されていく、おろそかにされることが心配。

事務局 それはわからない。6日に大沢地域づくり懇談会で聞いてはいかがか。今までそれぞれの会で活動して来たことを、コミュニティ振興会という大きな組織の傘下に入る形になるのではなからうか。大沢地区には人口が900人しかいない。日向でも1300人。そんなにあちこちの会合やイベントに出ていられないだろう。地域づくり懇談会席上で、今まで不都合なくやってきたのに、新たな組織化は必要なのかと問うこともできるのでは。

#### 4-(3) その他

議長 それではその他ということで、ご意見のある人、どうぞ。

委員 観光について関心がある。八幡地域の観光客が多いのは、玉簾の滝、鳥海山によるところが大きい。観光地に恵まれている。しかし、観光客数は足踏み状態になっている。酒田市と合併したことにより、突破口を切り開いていくために、話し合っていかなければならない。

議長 10月の協議会では観光についての話し合いですので、大いに話し合ってください。

委員 升田に観光客がくるようになって、喜ばしいことだ。玉簾の滝、御嶽神社の二本の参道間に植えた桜などの樹木を観光地としてふさわしく、きれいにしておく必要があるので地域で管理している。ふれあい会館の芝生も前の区長が芝刈りを年4～5回して、きれいにしている。酒田からの方が沢山ほど利用している。このようにすべて行政からの補助金あるから活動するのではなく、地域の人が、自分の地域のためにボランティアで暇を見て協力していく気持ちがないといけないと言いたい。

委員 小学校の再編問題だが、昨日の夜会合があって、2校を八幡小に統合することへの意見交換があった。大沢はすぐにでも統合してもらいたいとあった。日向は渋っているようだが、内心父兄たちもいずれ子どもたちのことを考えれば統合するのだと感じた。教育委員会の考え方として9月までは結論を出すとしている。自分としても、日向地区に入っているので、子どものためを思えば統合したほうが良いと考えている。

#### 5 閉 会

議長 次回ですが、先ほど休憩中に話しましたが、いつならよろしいでしょうか。(協議後) 10月23日、月曜日、午後1時30分から中央公民館で行います。また提案なのですが、会議終了後、懇親会を持ちたいと考えていますが、いかがでしょうか。鳥海山荘であればと考えていますが。(賛成多数)事務局から山荘に当たっていただきます。市長を懇親会にお誘いすることにしましょう。

副会長 慎重協議ありがとうございました。以上をもちまして、第2回八幡地域協議会を閉会します。

～ 4時55分閉会～

**【会議資料の名称及び内容】**

- ・資料 - 1 八幡中央公民館利用状況（17 - 14 年度）
- ・資料 - 2 酒田市学童保育一覧、放課後児童健全育成事業の実施状況について
- ・資料 - 3 地域コミュニティ進行組織の組織化に関する資料
- ・資料 - 4 酒田市におけるコミュニティ形成のあり方について（諮問 - 答申）
- ・資料 - 5 これからの公民館のあり方（報告）
- ・資料 - 6 平成 18 年度地域づくり懇談会地域要望と回答